

「建交労とうきょう」はいつでもみなさまからの記事や写真を待っています。
 (メール) tohonbukenkouro@smile.odn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.kenkouro.com/>

建交労



とうきょう

建交労東京都本部機関紙

発行所
 全日本建設交運一般労働組合東京都本部
 〒135-0048
 江東区門前仲町1-20-3
 東京建設自労会館7階
 電話 03(3820)8646(代)
 fax 03(3820)8646
 編集発行人 松田 隆浩
 1部15円組合費に含まれる(760円)



19春闘勝利! 団結して頑張ろう!



開会挨拶をする松田執行委員長



記念講演をして頂いた青木輝光税理士

建交労東京都本部
第24回委員会

2月3日(日) 19春闘方針と統一要求基準を決定する第24回都本部委員会が開催されました。松田執行委員長の開会あいさつ、諸役員選出などを経て、元全国税東京地連書記長・元東京地評事務局長の青木輝光税理士を講師にお招きし「消費税10%増税の中止を」と題して記念講演を頂きまし

た。そもそも消費税とはどのような税金であるのかという点から始まり、消費税は、増税される度に日々の景気と中小企業の経営に悪影響を与えてきたこと、低所得者層ほど負担が重い逆進性の不公平正規制であること、消費税増税と法人税減税がセットで行なわれたことなどが触れられました。これらは消費税ではなく、大企業や富

裕層に応分負担を求め、税金がさまざま免除されている大企業を中心に小企業並みの税負担を求めることが、今年行なわれる統一地方選挙、参議院選挙で政治を変え、消費税増税を阻止するたたかいの必要性などが語られました。

その後、昨年9月の定期大会から「経過報告」「19春闘方針第2次案」を提案しました。昨年

学校の内容について、組合会計をテーマに行なうことなどを提起しました。また、19春闘統一基準については、今年4月から一部施行され、働き方改革一括法の内容について

その後、午後からの質疑討論では、6名の委員より発言を受けました。19春闘は、大幅賃上げや賃下げなしの労働時間短縮などの実利獲得のたたかいが求められます。実質賃金が毎年下がり続けてることや、10月に予定されている消費税増税を見据え、例年以上に大幅ベースアップ獲得を目指します。また、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙で安倍政権にNO!の審判を下し、消費税10%増税を中止に追い込むため、団結してたたかいましょう!

【書記長 遠藤晃】

建交労東京都本部第24回都本部委員会

の春闘討論集会から中央委員会を経て、春闘方針に一部加筆修正された部分に触れながら、中央委員会で決定された月額36000円、

有給休暇の5日取得義務化に伴い、会社が夏季休暇等の特別休暇を有給化に充てられるよう、労働条件の後退には充分に注意する必要があります。

その後、午後からの質疑討論では、6名の委員より発言を受けました。19春闘は、大幅賃上げや賃下げなしの労働時間短縮などの実利獲得のたたかいが求められます。実質賃金が毎年下がり続けてることや、10月に予定されている消費税増税を見据え、例年以上に大幅ベースアップ獲得を目指します。また、4月の統一地方選挙と7月の参議院選挙で安倍政権にNO!の審判を下し、消費税10%増税を中止に追い込むため、団結してたたかいましょう!

【書記長 遠藤晃】

